


日本の銑鋼一貫製鉄の始まりと発展

登録番号	第 00214 号		
登録年月日	平成28年9月13日	登録区分	第二種
名称 (型式等)	東田第一高炉		
所在地	福岡県北九州市		
	東田第一高炉史跡広場		
所有者 (管理者)	北九州市		
製作者(社)	官営八幡製鉄所(現:新日鐵住金株式会社)		
製作年	1962年(第10次改修年)		
初出年	1901年(操業開始年)		
選定理由	<p>旧官営八幡製鉄所東田第一高炉は、日本の銑鋼一貫製鉄の始まりとして1901(明治34)年に操業を開始した。その技術や設備は、高炉による製銑工程、転炉や平炉での溶鋼・製鋼工程、圧延による鋼材加工工程を備えた近代的な銑鋼一貫設備であった。ドイツからの技術導入による完成後は、日本人技術者の改良や技術開発が行われ、急速に進歩を遂げた。東田第一高炉は、操業時から改修・改良工事を繰り返し、1962(昭和37)年に第10次の改修を受けて、日本初の高圧高炉として1972(昭和47)年まで操業を続けた。日本の製鉄技術を記念する遺構として重要である。</p>		
登録基準	一ーイ(科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)		
公開・非公開	公開		
写真			
その他参考となるべき事項	※現在は北九州市により史跡広場として一般に公開されている。		